

平岸スタンダード

聞

く

話し合う

話

す

高
学年

内容や考えの中心、こんきょ根拠、事例など、自分とどこが同じでどこが違うのか、また、それがなぜなのかを考えながら聞こう。

互いの立場や意図を明確にしなが
ら話し合い、考え
を広げたりまとめ
たりしよう。

1. 聞いている人がどんな知識や関心をもっているかを考えよう。
2. 場や聞き手に応じて、声の大きさや速さ、表情、身ぶり、言葉づかいなど話し方を工夫しよう。
3. 自分の体験や調べた事実など、具体的な理由を入れて説明しよう。

中
学年

1. 話の中心に気を付けて聞こう。
2. 自分だったらどうかと考えたり、自分の知っていることとつなげたりして聞こう。
3. 話し手が話したいことを考えながら質問や感想をもとう。
4. ほかの人の質問や感想もよく聞こう。

お互いの意見の
おなじところ、ちが
うところに着目しな
がら話し合おう。

1. 声の大きさや速さに気を付けて、大事なことが伝わるようにしよう。
2. しりょうを使ったり、理由をはっきりさせたりして発表しよう。
3. 自分の調べたことを分かりやすく伝えよう。

低
学年

1. はなす人の方をむいてきこう。
2. だいじなことはなにかをかんがえてきこう。
3. はなしをきいたらしつもんをしたりかんそうをいったりしよう。

おたがいの はなしに
かんしんをもち、あいての
はつけんをうけて
はなしをつなごう。

1. きく人が、ききとりやすい 声の大きさやはやさをかんがえてはなそう。
2. だいじなことは何かをかんがえながらじゅんばんにきをつけてはなそう。
3. 「です」「ます」をつかって、ていねいなことばづかいで はなそう。

